

平成29年度 学校評価（自己評価結果等）

<p>前年度の 重点目標</p>	<p>これまで以上に地域から信頼される学校作りを進めることが求められようになってきた。生徒が自らの未来を切り拓くための「生きる力」を身に付けることができるよう、アクティブラーニングの導入やキャリア教育の視点を踏まえた新たな学びのフレームを構築し、魅力ある教育活動を実践していく。</p>		
<p>項目（担当）</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>評価結果と課題</p>
<p>学習指導 （教務部） （特別活動部） （図書研修部） （教科会）</p>	<p>基礎基本となる知識・技能を習得し、学習する習慣や方法を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生徒の多様な特性を理解し、計画的な学習活動を促し、学習習慣を確立させる。 授業重視を徹底する。 部活動、学校行事から得られるもの大切さを機会あるごとに指導する。 図書の充実を図るとともに継続的な啓発活動を行う。 理教教育の充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の予習・復習を徹底させ、学習習慣の確立を進めることができた。週末課題の精選を含め、今後も学力向上の方法を研究を進めることが課題である。 各行事では、生徒の男女比のアンバランスについては条件をつけて出来るだけ均等になるように配慮できた。さらに行事の見直しで生徒のニーズにあった内容を取り入れていくことも課題である。 年間を通じて読書啓発の活動をすすめることができた。主体的・対話的で深い学びを実践する場として、図書館の効果的な活動を模索していくことが課題である。
<p>人権教育 いじめ防止 （生徒指導部） （特別活動部） （教育相談部）</p>	<p>命の尊さを知り、自分を大切にするとともに、他人を思いやる心を養う。 いじめは許さない心を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動のあらゆる機会を通じて、人と共に生きる喜びを学び、感謝の心を持つて人に接することができる社会性、協調性を養う。 規律やマナーを遵守し、正義を重んじる態度を養う。 生徒相談において、支援が必要な生徒に関わる教員の連携を密にするなど支援体制の整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月の朝礼講話と、人権週間における校内放送で人権についての啓発活動を行った。また、年2回の学校生活アンケートを実施し、いじめの実態把握にも努めた。ネット上のトラブルも把握できたので、今後も注意深く情報収集や観察を続けていきたい。 生徒議会の開催や生徒会活動を通して、多くの生徒の意見を聞き、活動に生かすことができた。引き続き、リーダーの育成や部活動の活性化に重点をおき、心身ともに健康な生徒の育成を心掛けたい。 生徒情報を共有し、必要な支援を行った。継続的な支援が必要ではない場合の情報共有も充実させたい。
<p>キャリア教育 （進路指導部）</p>	<p>生徒が自らの能力・特性を知り、積極的にキャリア発達に向けて取り組む姿勢を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主権者教育の充実を始め、将来を見据え、広い視野に立って進路選択ができるよう指導する。 一人一人の生徒の高いレベルでの進路希望達成に向けて、必要な支援に努める。社会の変化に留意した資料収集を心がけ、適切な情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路検討会では生徒一人一人の進路目標や学力に応じて検討を行い、適切な支援を行った。 看護医療系を希望する生徒に対しては看護体験や医療見学を行い、保育士を希望する生徒には保育体験を実施するなど、将来の職業につながる体験をさせることができた。 総合的な学習の時間において、地域研究を行い、地域の企業や大学を見学し、学んだことをまとめたり、発表したりして振りかえることによって将来の職業について考えさせることができた。
<p>安心・安全な 学習環境の整備 （総務部） （生徒指導部） （保健部）</p>	<p>学校を取り巻く環境を整備し、安心・安全で、より快適な学習環境の実現を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 協働、応援要請、学校からの情報発信など、直接的・間接的に保護者、同窓会との連携をより深め、生徒が安心して教育活動に取り組める環境作りをする。 地域と連携し、学校内外における交通安全意識の向上を図るとともに啓発活動を継続的に実施する。 防災訓練の実施、災害時の組織活動の確認を確実に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と連携して交通安全などの啓発活動を実施できた。今後は活動範囲や方法の拡大が課題である。 知立市と安城警察が連携して実施している「200日間自転車無事故無違反ラリー」に参加し、交通事故防止の啓発をした。 防災訓練、シェイクアウト訓練等で災害時の避難方法や平常時の安全意識の向上を図ることができた。今後は避難訓練の実施回数や方法の検討をしていく必要がある。
<p>総合評価</p>	<p>どの項目も概ね良好に成果を上げられており、地元で根ざした進学校として、地域の信頼も得ている。ただ、より一層の向上のための課題はいずれの項目についても抱える状況なので、継続と改善を組織的に取り組めるよう努める必要がある。</p>		